

平成30年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月12日

上場会社名 旭化学工業株式会社
 コード番号 7928 URL <http://www.asahikagakukogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部課長
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 杉浦 武
 (氏名) 亀島 洋一
 TEL 0566-92-4181

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	2,080	34.9	44	—	41	154.9	13	9.5
29年8月期第1四半期	1,542	△23.3	3	—	16	△56.7	12	△66.6

(注) 包括利益 30年8月期第1四半期 81百万円 (—%) 29年8月期第1四半期 △29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	4.28	—
29年8月期第1四半期	3.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年8月期第1四半期	5,742	4,306	75.0	1,334.13
29年8月期	5,689	4,237	74.5	1,312.89

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 4,306百万円 29年8月期 4,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年8月期	—	0.00	—	4.00	4.00
30年8月期	—	—	—	—	—
30年8月期(予想)	—	3.00	—	4.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	6.5	60	757.1	70	32.1	40	166.7	12.39
通期	7,200	2.2	150	108.3	170	39.3	100	72.4	30.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期1Q	3,896,000 株	29年8月期	3,896,000 株
② 期末自己株式数	30年8月期1Q	668,100 株	29年8月期	668,100 株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年8月期1Q

3,227,900 株

29年8月期1Q

3,227,983 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策を背景に緩やかな回復基調が続く一方、海外の不安定な政治動向や地政学的リスクの影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、電動工具業界におきましては、国内外において販売が堅調に推移し、為替レートが円安基調となったことから増収となりました。自動車業界におきましては、北米やアジアを中心に販売が減少し、減収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高20億80百万円（前年同四半期比34.9%増）、営業利益44百万円（前年同四半期は営業利益3百万円）、経常利益41百万円（同154.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円（同9.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

国内は、電動工具部品については受注が増加しましたが、自動車部品については受注が減少し、売上高は8億41百万円（前年同四半期比0.9%減）となり、営業損失が13百万円（前年同四半期は営業利益12百万円）となりました。

②中国

中国は、電動工具部品及び樹脂金型の受注増加により、売上高は11億92百万円（同81.1%増）となり、営業利益は87百万円（前年同四半期は営業利益4百万円）となりました。

③タイ

タイは、自動車部品及び樹脂金型の受注増加により、売上高は69百万円（同49.1%増）となり、営業損失は31百万円（前年同四半期は営業損失15百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比べ52百万円増加し57億42百万円（前連結会計年度末比0.9%増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金が20百万円、その他流動資産が10百万円、投資その他の資産が57百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が30百万円、棚卸資産が53百万円、有形固定資産が55百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ16百万円減少し14億35百万円（前連結会計年度末比1.1%減）となりました。これは主に賞与引当金が28百万円増加しましたが、買掛金が17百万円、その他流動負債が23百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ68百万円増加し43億6百万円（前連結会計年度末比1.6%増）となりました。これは主に為替換算調整勘定が62百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,789,085	1,819,402
受取手形及び売掛金	945,524	925,324
商品及び製品	169,652	216,222
仕掛品	164,366	163,921
原材料及び貯蔵品	129,537	137,246
繰延税金資産	1,218	1,545
その他	157,182	146,918
貸倒引当金	△540	△570
流動資産合計	3,356,027	3,410,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	528,740	530,537
機械装置及び運搬具(純額)	412,067	445,099
土地	880,039	884,001
その他(純額)	48,480	65,506
有形固定資産合計	1,869,326	1,925,144
無形固定資産	9,609	9,464
投資その他の資産		
投資有価証券	152,130	158,482
その他	305,854	242,283
貸倒引当金	△3,059	△3,059
投資その他の資産合計	454,925	397,706
固定資産合計	2,333,861	2,332,314
資産合計	5,689,889	5,742,326
負債の部		
流動負債		
買掛金	914,171	896,304
未払法人税等	30,438	26,042
賞与引当金	31,276	59,946
役員賞与引当金	7,500	9,375
繰延税金負債	5,663	7,251
その他	283,343	260,041
流動負債合計	1,272,394	1,258,960
固定負債		
繰延税金負債	144,582	141,267
役員退職慰労引当金	34,817	35,495
その他	222	175
固定負債合計	179,622	176,938
負債合計	1,452,016	1,435,899

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	2,577,559	2,578,469
自己株式	△298,844	△298,844
株主資本合計	3,680,440	3,681,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,127	65,150
為替換算調整勘定	497,304	559,926
その他の包括利益累計額合計	557,432	625,076
純資産合計	4,237,872	4,306,427
負債純資産合計	5,689,889	5,742,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,542,546	2,080,873
売上原価	1,410,382	1,891,054
売上総利益	132,163	189,819
販売費及び一般管理費	128,191	145,381
営業利益	3,971	44,437
営業外収益		
受取利息	5,710	7,442
受取配当金	270	220
為替差益	4,801	—
その他	1,675	6,099
営業外収益合計	12,456	13,761
営業外費用		
支払利息	32	10
為替差損	—	16,390
営業外費用合計	32	16,401
経常利益	16,395	41,798
特別利益		
固定資産売却益	—	200
特別利益合計	—	200
特別損失		
固定資産売却損	—	1,057
固定資産除却損	396	69
特別損失合計	396	1,126
税金等調整前四半期純利益	15,999	40,871
法人税、住民税及び事業税	5,738	31,266
法人税等調整額	△2,360	△4,217
法人税等合計	3,378	27,049
四半期純利益	12,620	13,821
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,620	13,821

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	12,620	13,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,770	5,022
為替換算調整勘定	△45,690	62,622
その他の包括利益合計	△41,920	67,644
四半期包括利益	△29,299	81,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,299	81,466
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、有形固定資産の工具、器具及び備品のうち金型について、当第1四半期連結会計期間より、減価償却の方法を従来の定率法から定額法へ変更しております。

この変更は新規受注の増加により、金型の製作費用が増加し重要性が増していることから、当該金型代金相当額の取引条件（一定期間内均等受取）に対応させて減価償却を行うことで、従来の減価償却方法によった場合と比較して、より適正な期間損益を算定することを目的としたものであります。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年9月1日 至平成28年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日 本	中 国	タ イ	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	849,245	646,413	46,886	1,542,546	—	1,542,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11,931	—	11,931	△11,931	—
計	849,245	658,344	46,886	1,554,477	△11,931	1,542,546
セグメント利益又は損失(△)	12,894	4,611	△15,103	2,402	1,568	3,971

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年9月1日 至平成29年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日 本	中 国	タ イ	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	841,866	1,169,114	69,891	2,080,873	—	2,080,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	23,037	—	23,037	△23,037	—
計	841,866	1,192,152	69,891	2,103,910	△23,037	2,080,873
セグメント利益又は損失(△)	△13,528	87,636	△31,657	42,450	1,987	44,437

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。